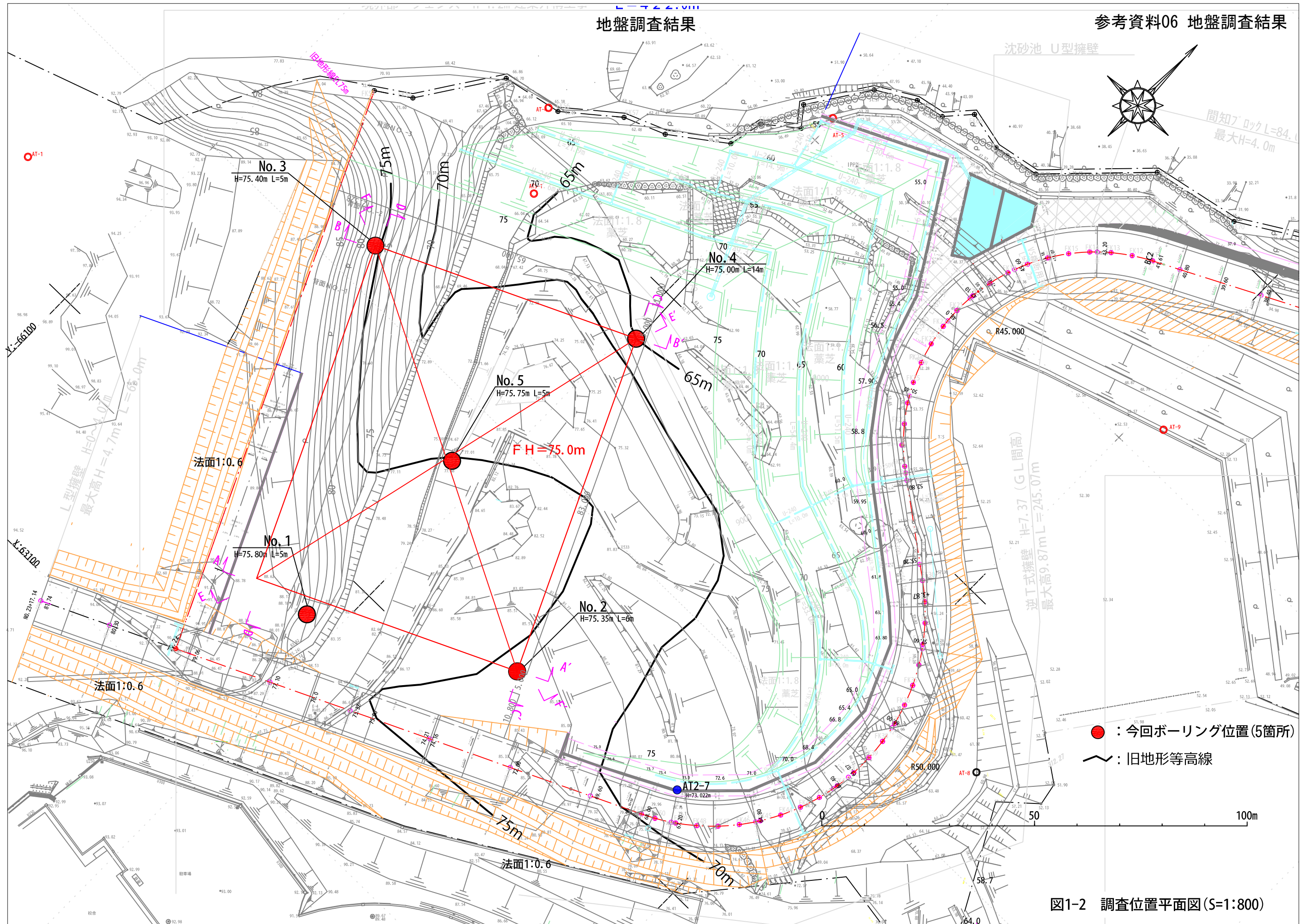


地盤調査結果

参考資料06 地盤調査結果



● : 今回ボーリング位置(5箇所)
〰 : 旧地形等高線

図1-2 調査位置平面図(S=1:800)

ボーリング柱状図

調 査 名 第3給食センター事業予定地

ボーリングNo	5	0	3	0	2	2	8	3	0	0	1
---------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

事業・工事名 地質調査業務委託

シート No

ボーリング名	No. 1			調査位置		福岡市西区今宿青木字廣石南1042番2, 1042番4					北緯		33° 34' 02.2023"						
発注機関	福岡市 教育委員会 教育支援部					調査期間		平成 29年 11月 17日 ~ 29年 11月 17日					東経		130° 17' 20.5343"				
調査業者名	株式会社ジオフォーメーション 電話 (092-567-7030)			主任技師		松崎秀俊		現代場人		松崎秀俊		コ鑑ア者		松崎秀俊		ボーリング責任者		鴨川健一	
孔口標高	H=75.80m		角 180° 上 90° 下 0° 度		方 北 0° 270° 西 90° 東 0° 180° 南 向		地盤勾配 鉛直 90° 水平 0°		使用機種		試錐機		YBM製05型		ハンマー落下用具		半自動		
総掘進長	5.02m										エンジン		ヤンマーNFAD-10型		ポンプ				GP-5型

[illegible]

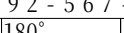
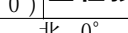
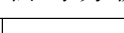
ボーリング柱状図

調 査 名 第3給食センター事業予定地

ボーリングNo	5	0	3	0	2	2	8	3	0	0	2
---------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

事業・工事名 地質調査業務委託

シート No

ボーリング名	No. 2			調査位置	福岡市西区今宿青木字廣石南1042番2, 1042番4						北緯	33° 34' 03.0238"				
発注機関	福岡市 教育委員会 教育支援部					調査期間	平成 29年 11月 13日 ~ 29年 11月 13日					東経	130° 17' 22.2624"			
調査業者名	株式会社 ジオフォーメーション 電話 (092-567-7030)			主任技師	松崎秀俊		現代理人	松崎秀俊		コ鑑 定 者	松崎秀俊		ボーリング責任者	鴨川健一		
孔口標高	H=75.35m	角 度		方 向		地盤勾配		使用機種	試錐機	東邦地下製 D0 - D型		ハンマー落下用具	半自動			
総掘進長	6.02m								エンジン	ヤンマー NFAD - 10 型		ポンプ	B G - 3 C 型			

[illegible]

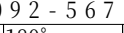
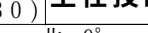
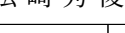
ボーリング柱状図

調 査 名 第3給食センター事業予定地

ボーリングNo	5	0	3	0	2	2	8	3	0	0	3
---------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

事業・工事名 地質調査業務委託

シート No

ボーリング名	No. 3			調査位置	福岡市西区今宿青木字廣石南1042番2, 1042番4					北緯	33° 34' 04.5693"		
発注機関	福岡市 教育委員会 教育支援部				調査期間	平成 29年 11月 14日 ~ 29年 11月 15日				東経	130° 17' 18.6093"		
調査業者名	株式会社 ジオフォーメーション 電話 (092-567-7030)			主任技師	松崎秀俊		現代場人	松崎秀俊	コ 鑑 定 者	松崎秀俊	ボーリング責任者	田中克博	
孔口標高	H=75.40m	角 度		方 向		地盤勾配		使用機種	試錐機	東邦地下製 D0 - D型		ハンマー落下用具	半自動
総掘進長	5.02m								エンジン	ヤンマー NFAD - 10型		ポンプ	BG - 3C型

[illegible]

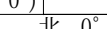
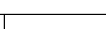
ボーリング柱状図

調 査 名 第3給食センター事業予定地

ボーリングNo	5	0	3	0	2	2	8	3	0	0	4
---------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

事業・工事名 地質調査業務委託

シートNo

ボーリング名	No. 4			調査位置	福岡市西区今宿青木字廣石南1042番2, 1042番4					北緯	33° 34' 05.4662"	
発注機関	福岡市 教育委員会 教育支援部				調査期間	平成 29年 11月 15日 ~ 29年 11月 16日				東経	130° 17' 20.8949"	
調査業者名	株式会社 ジオフォーメーション 電話 (092-567-7030)			主任技師	松崎秀俊		現代場人	松崎秀俊	コ 鑑 定 者	松崎秀俊	ボ-リング 責 任 者	田中克博
孔口標高	H= 75.00m	角  度	方	北 0°  西 270° 東 90° 180° 南	地盤 勾配	 鉛直 90° 水平 0°	使用 機種	試錐機	東邦地下製 D0 - D型		ハンマー 落下用具	半自動
総掘進長	14.02m		向	エンジン	ヤンマー NFAD - 10 型		ポンプ	BG - 3 C 型				

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験						原位置試験		試料採取			室内試験(月日)	掘進月日					
											深度 (m)	10cmごとの打撃回数			打撃回数／貫入量 (cm)	N値	深度 (m)	試験名および結果	深度 (m)	試料番号	採取方法							
												0	10	20														
1					盛土・礫混じり砂	茶褐色灰	緩い／中ぐらい		基盤の花崗岩の風化土(マサ)を材料とする盛土。 粒径不均一な砂を主体とし、径2～50mm程度の礫を混じるほか、所々に径50～70mmの礫を含む。部分的に礫が密集する箇所が認められ、層相は不均質である。 孔壁は崩れやすく、深度4mまではケーシングを挿入するとともに、それ以深は泥水による保孔を要した。 深度4.8～5.6m間は、シルト質砂よりなり、礫分をほとんど含まない。 深度5.6～7.5m間は、所々に木片を含む。	11/16 6.50	1.15	5	6	7	18/30	18												
2											1.45	5	3	2	10/30	10												
3											2.15	10	7	5	22/30	22												
4											2.45	6	5	4	15/30	15												
5											3.15	4	4	4	12/30	12												
6											3.45	5	7	6	18/30	18												
7											4.15	2	2	3	7/30	7												
8											4.45	3	5	14	22/30	22												
9											4.70	13	11	11	35/30	35												
10	65.00	10.00	10.00								5.30	50			50/10	150												
11					花崗岩・軟岩				岩盤面より概ね硬質で、試料はハンマーの軽打で割れる程度の硬さをなす。 試料は、礫状もしくは、長さ5～10cm程度の短棒状コアで採取される。	11/16 6.50	10.05	50			50/5	300												
12											10.15	50			50/5	300												
13											11.00	50			50/5	300												
14	60.98	4.02	14.02								11.05	50			50/5	300												

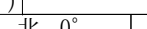
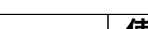
ボーリング柱状図

調 査 名 第3給食センター事業予定地

ボーリングNo	5	0	3	0	2	2	8	3	0	0	5
---------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

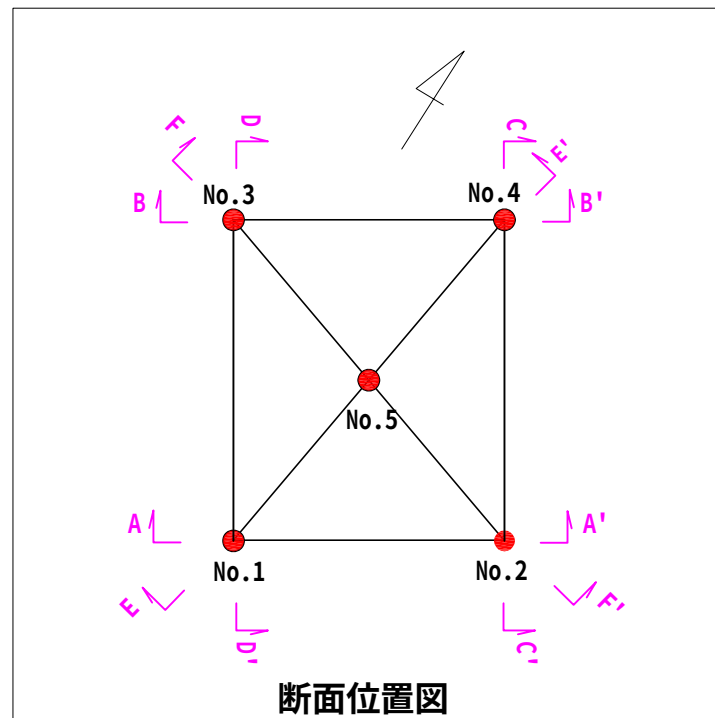
事業・工事名 地質調査業務委託

シート No

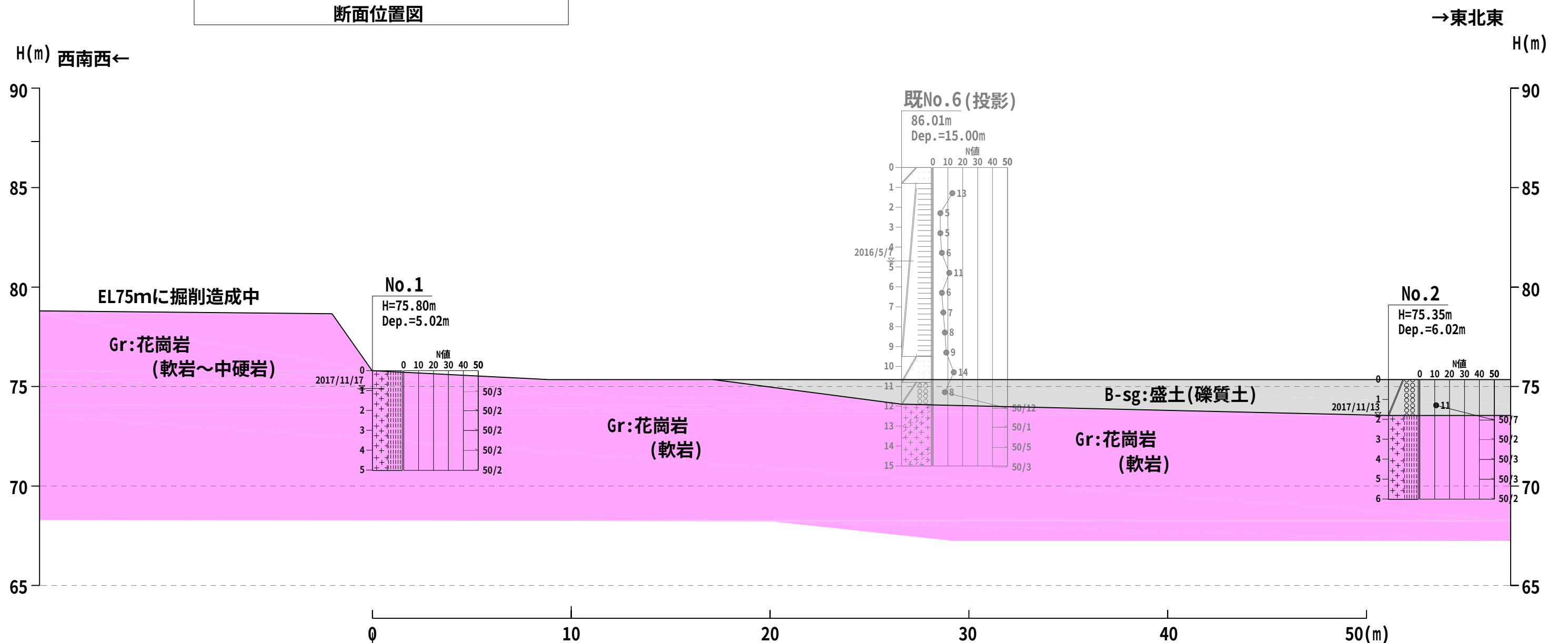
ボーリング名	No. 5			調査位置	福岡市西区今宿青木字廣石南1042番2, 1042番4						北緯	33° 34' 03.8149"			
発注機関	福岡市 教育委員会 教育支援部				調査期間	平成 29年 11月 14日 ~ 29年 11月 14日					東経	130° 17' 20.4889"			
調査業者名	株式会社 ジオフォーメーション 電話 (092-567-7030)			主任技師	松崎秀俊		現代理人	松崎秀俊		コア鑑定者	松崎秀俊		ボーリング責任者	田中克博	
孔口標高	H=75.75m	角 度		方 向		地盤勾配		使用機種	試錐機	東邦地下製 D0 - D型		ハンマー落下用具	半自動		
総掘進長	5.02m								エンジン	ヤンマー NFAD - 10型		ポンプ	BG - 3C型		

[illegible]

地質推定断面図

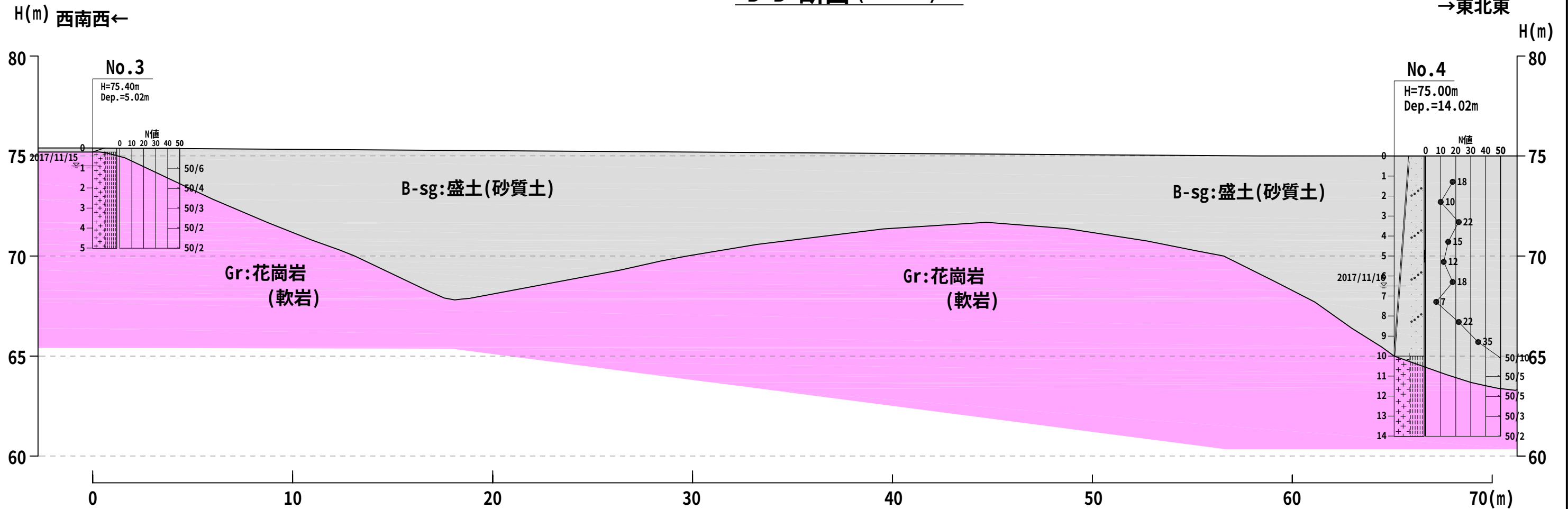


A-A'断面 (S=1:200)

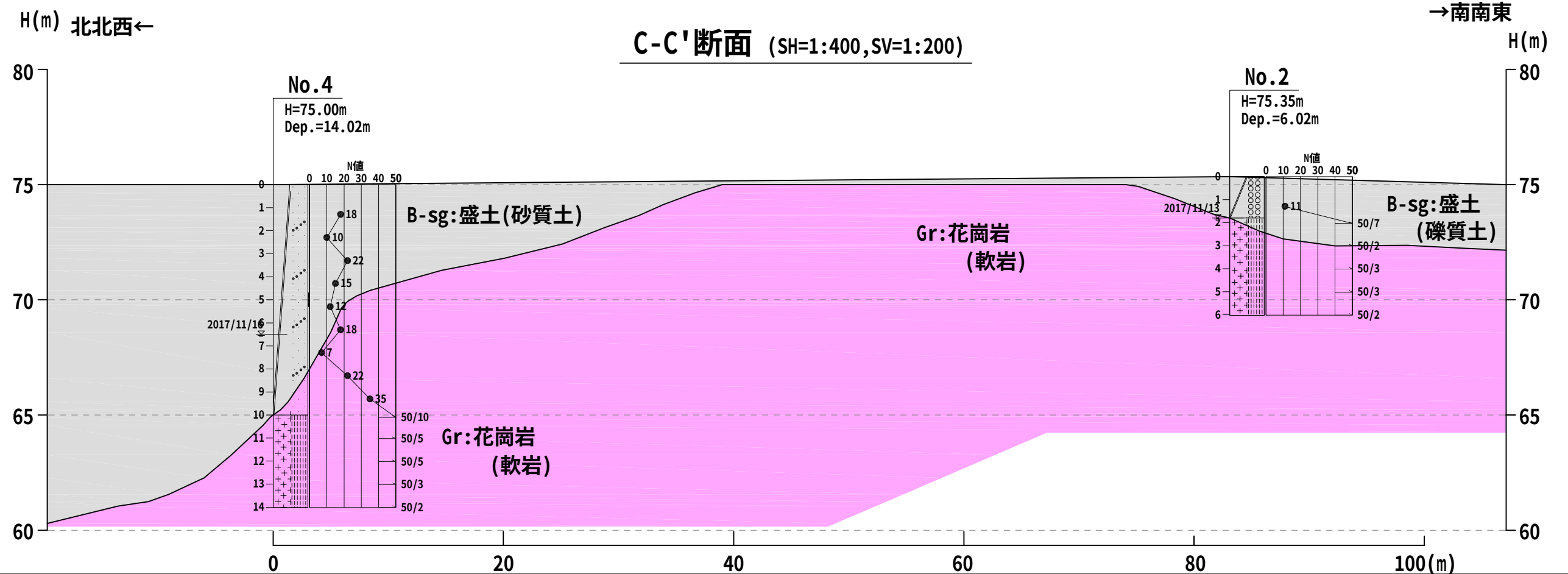


※地質境界線は旧地形等高線を基にした推定線であり、ボーリングデータに基づくものではありません。

B-B'断面 (S=1:200)

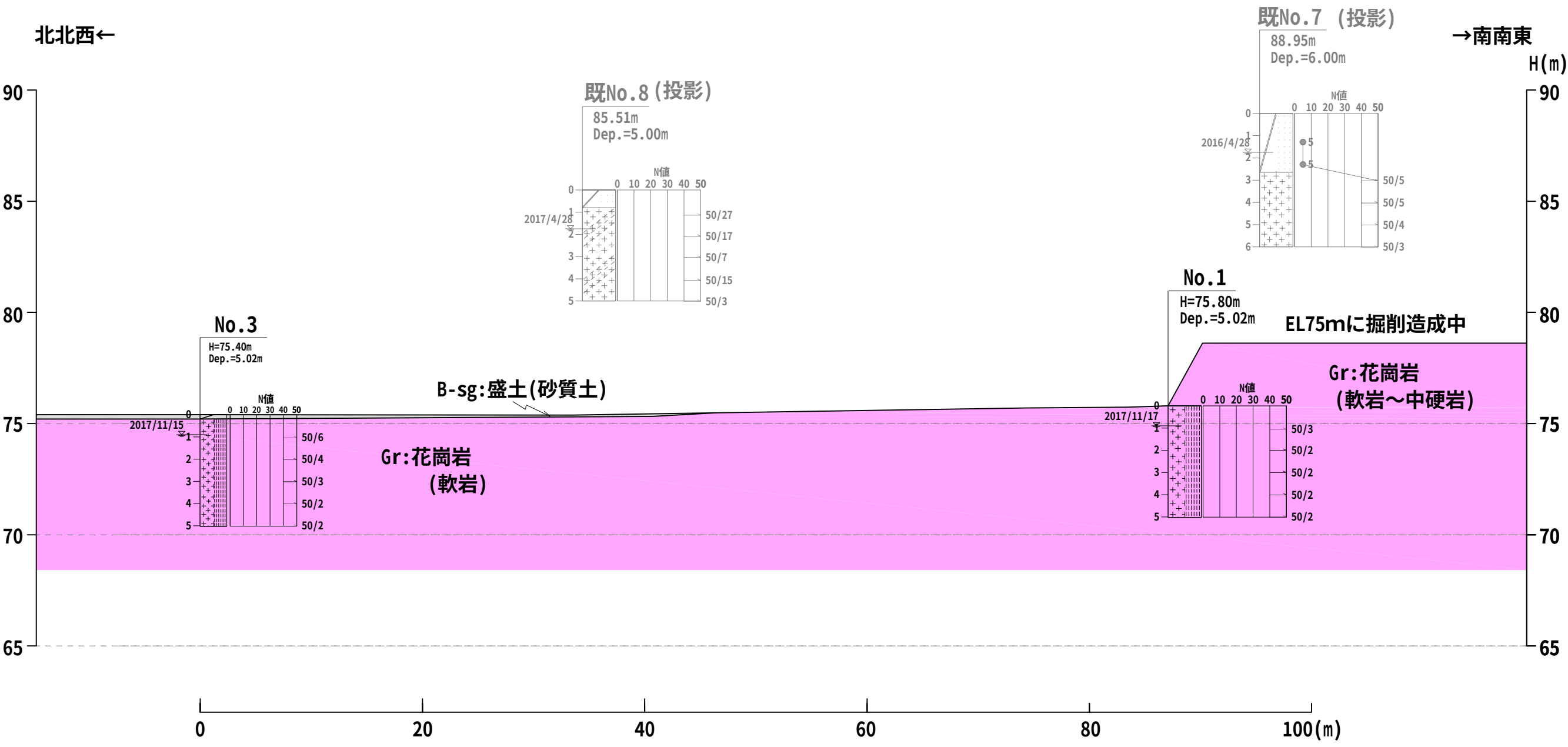


C-C'断面 (SH=1:400,SV=1:200)



※地質境界線は旧地形等高線を基にした推定線であり、ボーリングデータに基づくものではありません。

D-D'断面 (SH=1:400,SV=1:200)

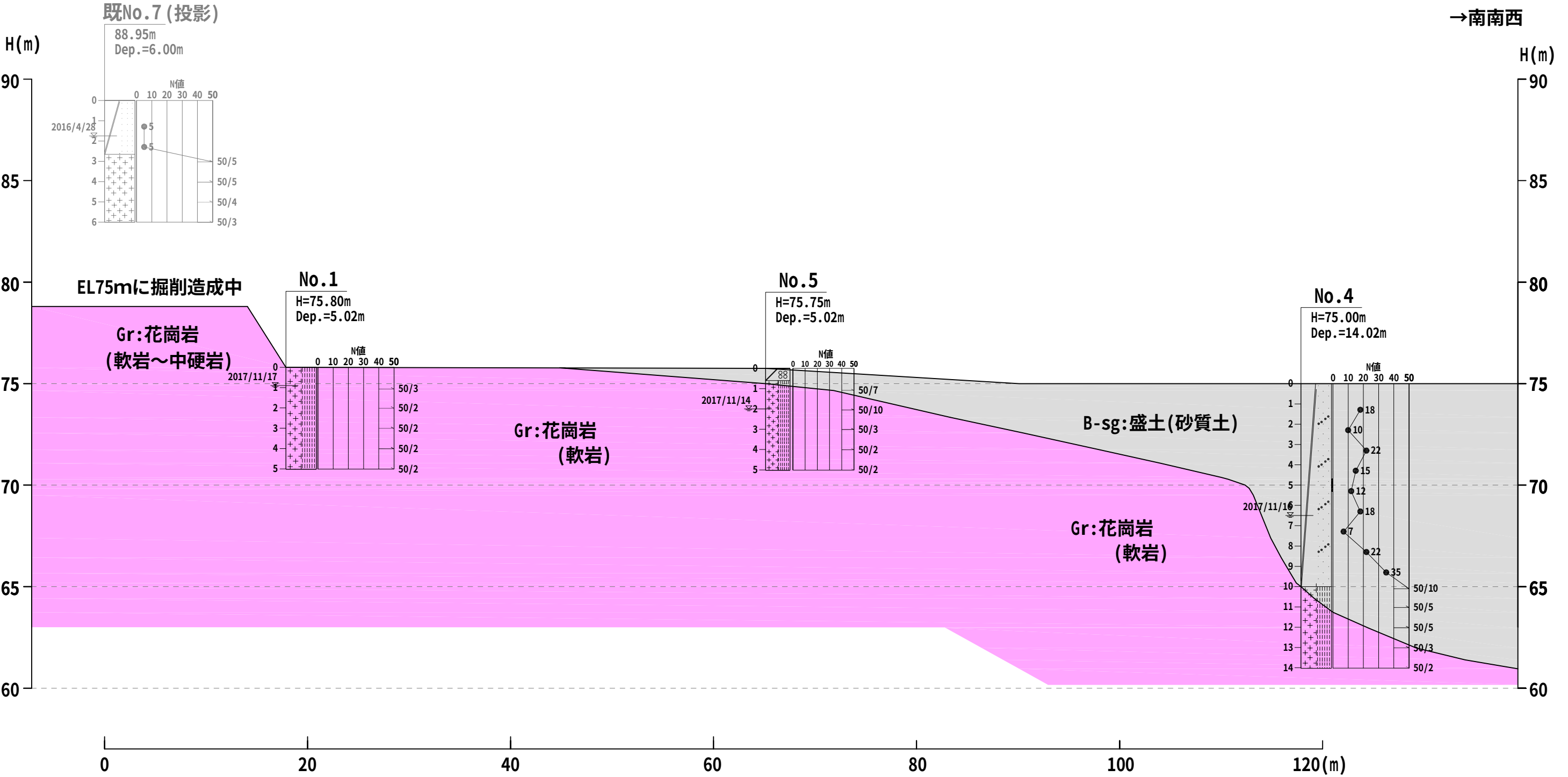


※地質境界線は旧地形等高線を基にした推定線であり、ボーリングデータに基づくものではありません。

E-E'断面 (SH=1:400,SV=1:200)

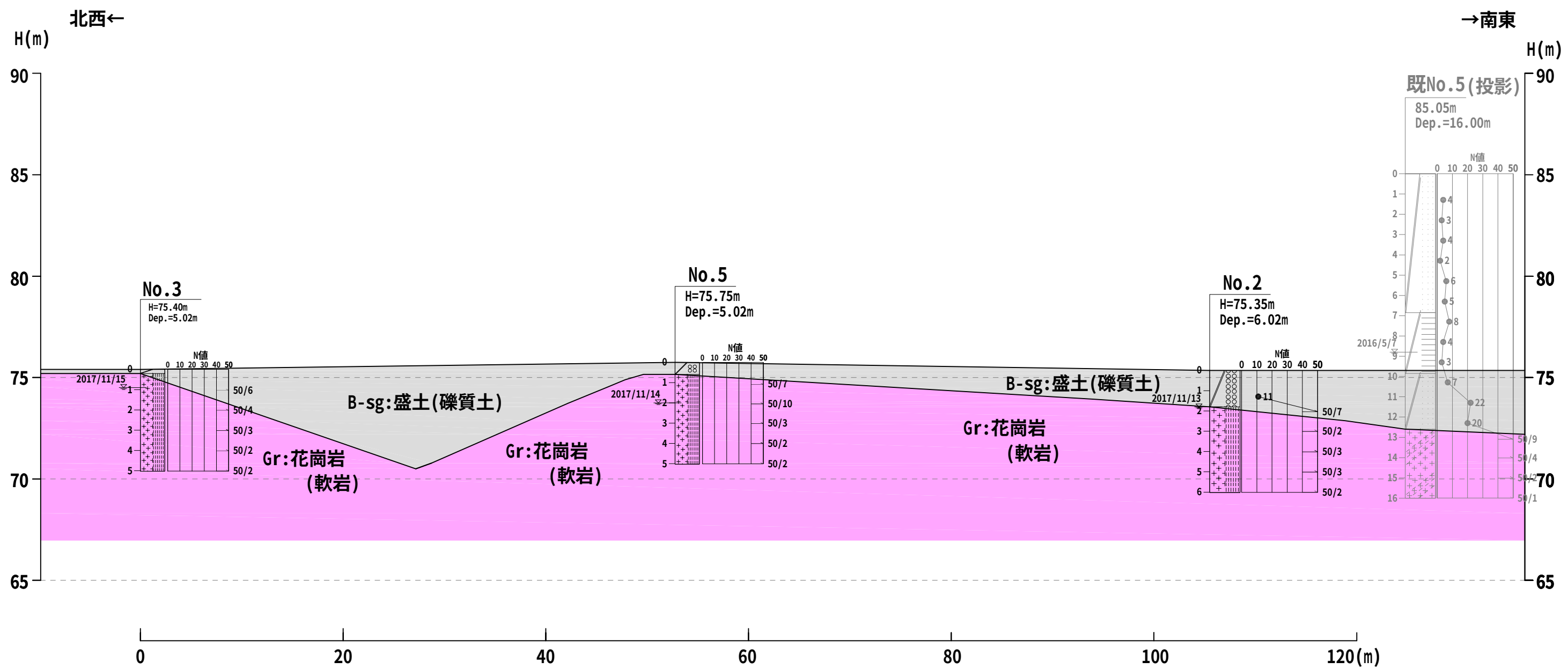
北北東← Bor.7

→南南西



※地質境界線は旧地形等高線を基にした推定線であり、ボーリングデータに基づくものではありません。

F-F'断面 (SH=1:400,SV=1:200)



※地質境界線は旧地形等高線を基にした推定線であり、ボーリングデータに基づくものではありません。